

市政への提言

平成21年9月18日～10月1日受付分

提言・意見	所管課等	対応状況
<p>72. 高掬地区に限らず早急に求められるものは、第1に急激な財政難、第2に失業者増、これに対応する政策を他に先駆けて実施することが求められています。この現実に対応し、活力を取り戻す提案として、石倉山の森林の整備が必要かと思いません。失業対策と併せ、大々的にこれを行い、エコ燃料や間伐材の多目的利用パルプの複合利用、その後は植林等々、近隣の失業者、対象者等の協力を求めることなど有効な手段と併せ、急務となっていると思えます。</p>	<p>財政課</p>	<p>石倉山の森林については、高掬地区財産区の所有となっておりますので、財産区の財産等の利活用につきましては、財産区管理会で事業を決定し実施しています。御提言いただいたエコ燃料や間伐材の多目的利用等、失業対策について、財産区へ伝えたいと思えます。</p> <p>また、森林の持つ多面的機能である水源の涵養やみどり環境の保全、地球温暖化防止等広く市民に周知を図りたいと思えます。</p>
<p>73. 天童温泉原町線の計画では、貫津沼に橋をかけるということですが、交通事故で沼の水が油などで汚染されるし、山火事の際、防災ヘリもがみは、給水しにくくなると思えます。</p> <p>運動公園東の道路は、十文字から原町までほぼ一直線です。原町から温泉までも同様にしていきたい。</p> <p>一中が移築されるなら体育館東側後方の山のくびれた部分を切り通しすれば上水道タンク設置の際の土で埋めたえびす沼（現広場）の一部を道路に使用して天童温泉への道にしていきたい。</p>	<p>建設課</p>	<p>天童温泉原町線の新たなルートでの整備については、これまで地元の方々とお話し合いをした経過がありますが、具体的なルートや整備年次について確定した経過はありません。</p> <p>また、御提案のルートでの整備については、地形や周辺の土地利用から難しいと考えています。</p>
<p>74. ホームページで教育委員会の審議結果を拝見すると、ほぼ例外なく「原案の通り可決」だけの空疎な内容です。これは</p>	<p>教育総務課</p>	<p>教育委員会は、教育の振興を負託された行政委員会であり、その執行にあたっては、透明性を常に心がけるべきものと思っています。</p>

市政への提言

平成21年9月18日～10月1日受付分

提言・意見	所管課等	対応状況
<p>議論の内容を全く知り得ない、市民に対して大変不親切なものです。教育委員が市の教育のため本当に熱のこもった真剣な論議を行っている姿勢が窺われません。ホームページに掲載する限り市民が理解できる審議の概要、賛成・反対意見、可決に至る経緯等の記載をお願いします。</p>		<p>これまでの委員会会議等に関してのホームページによる情報提供としては、御指摘のとおり議案名と審議結果のみに留まっておりますが、今後議案内容や審議経過についても掲載するようにします。</p>
<p>教育の充実は市発展の重要な要件です。教委や各小中学校の毎年の教育目標や計画、成果等をホームページや市報などで市民に開示すれば更に質の高い教育と市政発展が実現すると思います。</p>	<p>学校教育課</p>	<p>教育の成果としての子どもの育ちは、必ずしも明確な数値等で示せるものではありませんが、各学校では、学校要覧、学校だより、学校参観等をとおして地域の方々に学校の教育目標や評価結果をお伝えしています。</p> <p>市教委では、全小中学生の家庭に、天童市の学校教育で目指すものや、主な施策を載せたパンフレット「天童市の学校教育」を配布しています。このパンフレットのホームページへの掲載については、積極的に進めていきたいと思えます。</p>
<p>功罪ありますが、教育行政を委託しているのは市民でもありますので、文部科学省の下で実施する学力テストの全国における天童市の位置、学校（校名は無理でも）ごとの、成績や評価、問題点と対応策等を開示いただけないでしょうか。</p>	<p>学校教育課</p>	<p>全国学力・学習状況調査については、文部科学省から「本調査により測定できるのは学力の特定の一部であることや、学校における教育活動の一側面に過ぎないことを踏まえ、序列化や過度な競争につながらないよう十分配慮して取扱うよう」との通知をいただいています。</p> <p>本市では、文部科学省の方針に則って実施しており、結果の開示は本調査の趣旨に合わないものと考えています。</p>

市政への提言

平成21年9月18日～10月1日受付分

提言・意見	所管課等	対応状況
		<p>市教委として、各学校には、調査結果を生かした個別面談等を実施し、個々の学習状況にあった指導改善を図ることなどを指導しています。</p> <p>本調査は、学力の一面と生活習慣とを相関させて結果を打ち出している部分もあります。基本的な生活習慣を身につける家庭教育も一緒に推進することが、本市の教育水準向上につながるかと考えています。</p>
<p>市内のリーダー的な方々の子女が山大附中に進学するケースが見受けられます。このこと自体は、個人の自由であり問題視するつもりはありませんが、市の教育関係者には痛切に残念に思っていたきたいと思いません。誇り、自信、信頼を持って天童市の小中学校に子女を預けられる、更に素晴らしい教育体制を構築願いたい。其の一環として以下の提案をします。</p> <p>①毎年新学期前には、各学校の「学校経営の計画と前年までの実績評価、問題点」などを、ホームページや市報等で市民に周知をお願いします。②市内4中学校に、学区外通学（学校選択）枠を設けていただけないでしょうか。</p> <p>上記学校経営計画等の開示と併せ、親や子女自身が学校、教師、部活動等を選択できることにより、各学校や先生方の頑張りへのインセンティブになり、</p>	<p>学校教育課 教育総務課</p>	<p>学校経営の計画や評価については、各学校の学校説明会やPTA総会で説明させていただいたり、学校要覧や学校だよりでお知らせしています。特に学校だよりについては、地区で回覧していただいたり、広報の仕方を工夫しています。</p> <p>市民の皆さまから教育に関心をもっていただき、その充実を図るためにも、本市の全ての学校の教育目標や評価の状況などをホームページ等でお知らせすることは、有益であると考えます。今後、検討していきたいと思いません。</p> <p>学校選択制とした場合、子どもは地域外の中学校への通学となり、小学校からの友達と離れ離れとなります。また、遠距離通学となるため、家庭の状況により希望の学校を選択できない子どもにとっては、不公平が生じてくること等が考えられます。</p> <p>本市では、学校と地域が一緒になって子育てを行う学社連携の取組みを進めてきました。今後も、通学距</p>

市政への提言

平成21年9月18日～10月1日受付分

提言・意見	所管課等	対応状況
<p>生徒が教育環境を自ら選ぶことで、学校生活への意欲や活性化増進につながると考えます。なお、小学校に関しては、地域との密接な教育の重要性を鑑み、除外しても可と判断します。</p>		<p>離等の地理的要素及び地域性に配慮した現在の中学校区を維持していくことが大切であると考えています。</p>